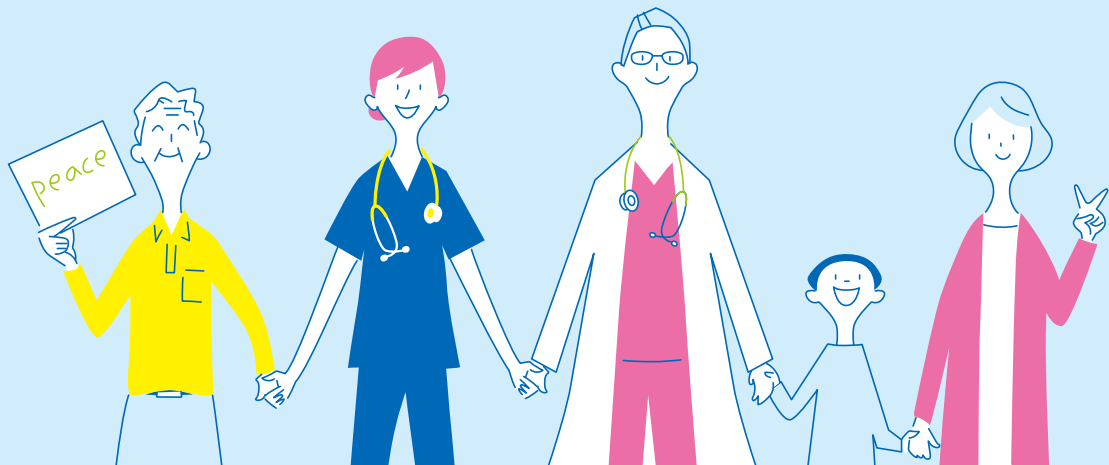


かけがえのないいのち 憲法を生かす社会の実現を

参議院選挙に向けて、憲法の理念を生かし、平和で人権が尊重される公正な社会の実現を求めて、「民医連の要求」を發表します。戦争は最大の人権侵害です。軍事対軍事では、国民のいのちと平和を守ることはできないことを、ロシアによるウクライナ侵略の惨状が示しています。日本政府がとるべき道は、戦争を起こさず、軍事力に頼らず国連憲章と憲法9条による平和外交で、唯一の戦争被爆国として、世界の平和に貢献することです。

コロナ禍のもとで、格差と貧困がいつそう拡大し、自己責任ではいのちと健康、暮らしが守れないことが、明らかになりました。私たちは医療・介護従事者として、何よりもいのちを大切に
する政治への転換を求めます。



憲法9条を守り生かし、日本国憲法の理念にもとづく 平和外交で、世界の平和に貢献しよう求めます

いま、9条改憲をすすめる動きが強まっています。防衛予算を2倍にすることも狙われています。

「専守防衛」の考え方を根本から転換する敵基地攻撃能力は、憲法9条が禁止する戦力そのものです。

日本は、憲法前文の平和的生存権、9条の戦争放棄・戦力不保持により、戦後77年間、他国に対する武力行使を一度も行っていない。敵をつくらず平和な信頼関係を築くことこそが、人類にとって一番の安全保障です。

私たちはいのちを守る医療・介護従事者として一切の戦争政策に反対します。日本が憲法9条の理念を守って、戦争しない国づくりをすること、紛争を武力でなく平和外交により解決するASEAN(東南アジア諸国連合)のような仕組みを、東アジアにも構築すること、憲法違反の安保法制は廃止し、辺野古新基地建設は中止すること、唯一の戦争被爆国として核兵器禁止条約を批准し、国連憲章にもとづいて世界の平和に貢献する国をめざすことを求めます。

II

憲法25条を生かし、いのちを守ることに お金をつかう国への転換、人権としての社会保障実現、 貧困をなくし格差を是正する公正な税制を求めます



憲法25条で保障された、健康で文化的な生活を
実現する社会保障の拡充は国の責務です。いのちを
守るための予算の抜本的な増額を求めます。

コロナ対策のさらなる強化を求めます。検査やワ
クチン体制、発熱患者の医療体制、罹患後症状への
対応など、抜本的な改善を求めます。また、国民生
活への支援策の強化を求めます。

コロナ禍はこれまでの社会保障予算削減政策の
誤りを明白にしました。新興感染症への危機対応
など、ゆとりある医療・介護の提供体制拡充と財
政支援の強化、公衆衛生体制の抜本的強化、地域

に必要な医療機関や病床の確保、診療報酬、
介護報酬の抜本的な改善を求めます。

格差・貧困の拡大、コロナ禍でのさらなる
困窮の中で、生活保護の重要性が一段と
高まっています。人権保障にふさわしい生活保護基
準の見直しと生活保護行政を求めます。日本に在留
する外国人への支援、医療保障も求めます。

これらの実現に向け、公正な税制実現を求めます。
消費税率は5%に引き下げ、社会保障の改善、充実
の財源は、国民負担ではなく国と大企業に応分の負
担を求めます。

III

すべての人が個人として尊重され、言論・学問の自由が 保障される社会、ジェンダー平等の実現を求めます



すべての人の尊厳が守られ、安心して暮ら
せるよう、憲法13条の個人の尊重、憲法24
条にもとづく公正な社会の実現を求めます。

ジェンダー平等実現に向け、その基礎とな
る一人ひとりの経済的自立や、制度改善、政

治参画、教育の実現を求めます。

子どもや高齢者の人権を守り、あらゆる世代の
人びとが尊重されるよう、制度の拡充や財政保障
を求めます。また、時の権力が介入することなく、
学問や言論の自由が保障されることを求めます。

IV

気候正義の実現、エネルギー政策の転換で地球環境の 保全を求めます

地球環境を保全し地球温暖化にはどめをかける
ことは、喫緊の課題です。COP26の「1.5℃目標」
の達成に向けた具体的な施策の実施、原発ゼロ、
再生可能エネルギーへの転換に向けて、「第6次エ
ネルギー基本計画」の撤回、原発ゼロ基本法をすみ
やかな制定を求めます。

大量生産、大量廃棄の経済活動から転換し、自
然環境を守る農業や林業への支援を求めます。

地球温暖化や気候変動に伴う大規模災害も多発
しています。被災者生活再建支援法にもとづく災
害被災者への支援の拡充を求めます。



全日本民主医療機関連合会

〒113-8465 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7F

TEL.03-5842-6451 FAX.03-5842-6460



要求全文は
こちら